



# 人・力ネ 行政頼り

報わぬ 国 負担増の先に 第2部 ▼1面参照

8月のある朝、名古屋市の中心部にあるホールに350人ほどの高齢者が詰めかけた。市が高齢者向けに開く「高年大学 鯉城学園」の納涼健康講座だ。この日は、難病を抱えた女性の生涯をつづったベストセラー「1リットルの涙」の患者の主治医が講演した。

2011年、この学園は名古屋市の予算を絞り込むための事業仕分けの対象になり、市民代表らによる外部評価では「コストが高すぎる」「民間のカルチャーセンターで十分だ」などと指摘された。仕分けの判定は「廃止」だった。弁護士などによる市の包括外部監査でも、公立高校の教員OBが就く「教授」の厚遇ぶりが問題になった。教授は10人いて、1人あたり年間約30コマの授業を受け持っていた。報酬は年間約390万円。1コマあたり約13万円の報酬になり、1コマあたり1万円ほどの大学の非常勤講師に比べて「高すぎ」と指摘された。

## 社協の課題

## 財源9割依存 江東区

## 名古屋市 教員OB厚遇

勤講師に比べて「高すぎ」と指摘された。しかし、12年に市の社会福祉審議会が「高齢者が社会貢献活動をするための学びの場になつてほしい」と評価し、存続が決まった。

教授たちは、授業をせずに講師を選ぶなどの調整にあたる「コーディネーター」になった。報酬は年間50万円下がり、人数も8人に減ったが、おもに教員OBを受け入れることに変わりはなく、地域団体と連携して実施する内容を含めてください」とあり、応募は市社協だけだったからだ。

「こんな取り組みができる団体に、社協以外にどんな団体が想像できるのか。市議の指摘に、市幹部は「今後の募集要項は、意見を踏まえて対応する」と述べた。

公共施設の管理業務は市社協の財源の柱の一つになっている。市の福祉会館や児童館の多くは市社協や市内の各区社協が管理を任せ、館長には市職員OBが再就職している。

以上の管理職5人はすべて区からの出向かOBだ。区職員OBの須田雅美・常務理事兼事務局長は「財源の約9割が区の予算の統制下にあるなかで、区職員が管理職にいたほうが仕事は回りやすい」と話す。

一方、生え抜きのある職員は言う。「福祉の経験がなく、数年で異動するのを待つだけの人もいる。区の意向ばかりで、現場の声をなかなか聞こうとしない」

江東区社協のトップの会長も山崎孝明・江東区長が務めている。山崎区長は「社協の活動は寄付で成り立っている部分があり、区長が会長でなければ寄付が集まらなくなる」という。ただ、東京都社会福祉協議会のもとでは、都内の62社協のうち首長が会長を務める社協は五つしか



滋賀県高島市の社会福祉協議会は学生ボランティアと交流し、災害があると駆けつけてもらう。松浦新撮影

### 社会福祉協議会

社会福祉法人のひとつで、全国の都道府県や市区町村にある。NPOやほかの福祉などの福祉団体と連携して国や自治体

の福祉制度ですくいきれない地域の課題解決に取り組み、その連携調整役を担う。たとえば、ボランティアの支援や高齢者の見守り、児童保育などを提供する社協がある。00年に

## 高島・小浜市 天下りゼロ、独自財源で「住民目線」

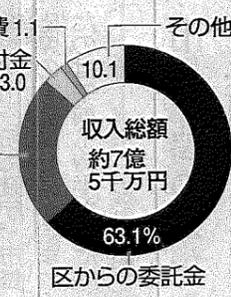
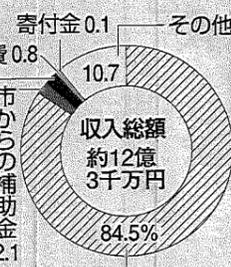
「あの山に桜やモミジを植えると、琵琶湖からも見えます。11月に植えるので応援してもらえますか」この交流は高島市社協と大学が企画し、地元に住む高島さんに案内をお願いした。学生たちは畑の雑草と

社協は本来、自治体から委託された仕事ばかりではなく、行政で対応しきれない住民の困りごとを解決する役割が期待されている。そのための寄付だ。

しかし、江東区の包括外部監査はこう指摘する。「行政職員が寄付金を財源とする業務に携わることには少ない。区受託事業は適切に執行しつつも、不慣れな寄付金に係る事業は十分に対応できなかった可能性もある」

8月、琵琶湖に面した滋賀県高島市の辻地区で、高屋正明さん(67)が京都市から2泊3日でボランティアにきた立命館大の学生約20人に呼びかけていた。

「税金をたくさん使った役所から人が来る。税金を預かる役所の人には公平性を大切に。だが、社協は住民一人ひとりの願いに応じた目線で動かないといけない」。小浜の豊永さんはそう考えている。



社会福祉協議会の収入を比べると(一般会計) 高島市社協: 収入総額約12億3千万円(84.5%補助金)

「報われぬ国」は原則として月曜日朝刊で連載します。ご意見をメール(keizai@asahi.com)にお寄せください。

(北川慧一、松浦新)